

### 登録団体代表に聞く

輝き市民サポートセンターでは、登録団体の活動をより広めていくため、各代表や活動のインタビューを実施していきます。第一回は福生市に残る古文書を読み解く活動をされている「福生古文書研究会」代表 日野さよ子氏にお聞きしました。



活動のきっかけは、郷土資料室の「ガイド養成講座」に参加したことでした。福生の歴史を学ぶうちに古文書が読めるようになりたいという思いが募り、高崎勇作氏に直談判。その後、峰岸秀雄氏に同研究会への入会を勧められ、会員の皆様がたくさんのご指導を受けたそうです。現在活動する会員数は8名ですが、古文書を読み解き、江戸末期の福生の人々の暮らしを知るといふ楽しみのもと活動しているそうです。

今後は現在の活動を受け継いでくれる後継者を育て、時代の変遷を学ぶことが福生市の社会教育に繋がっていくと話してくださいました。貴団体の活動はまさに「時代から次代」に繋がる活動だと感じました。貴重なお話ありがとうございました。

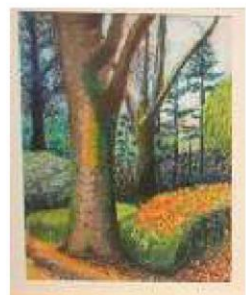
取材日：4月22日(土)

### 悠々会

福生市を中心にパステル画で地域の人々の健全育成、文化・芸術の振興、生涯学習への取組を推進する「悠々会」が福生市ブチギャラリーで展示会を開催いたしました。

風景画をはじめ、人物画・お花・果物とそれぞれ個性あふれ、一つ一つどれを見てもとても素晴らしく、作品に対する思いも描かれていたのではないかと感じました。このように展示会を開催し、描く楽しさだけでなく見ていただくことで、より意欲に繋がるのだと思います。

取材当日は、多くの来場者が笑顔でパステル画を鑑賞していました。



取材日：4月30日(日)

### 登録団体へインタビュー!

#### ハイサイ!三線倶楽部

満開の桜の花につつまれ「第40回ふっさ桜まつり」が4年振りに開催されました。桜も満開で天気も良く、多くの方が来場されていました。



4月1日(土)午後1時30分から、メイン会場である明神下公園特設ステージで30分間13名の会員の方がご出演し、多くの観客で賑わっていました。三線はもちろんのこと、踊りも交えての演奏は、とても素晴らしかったです。そして、会員の方の楽しんでいる笑顔が印象的で、演者と来場者が一体となっていました。改めて地域を明るく、元気にする活動を続けてこられた成果を感じるとともに、日頃の活動の積み重ねが大事であると実感しました。

「ハイサイ!三線倶楽部」では、会員を募集しています。皆さん、はじめてませんか?



取材日：4月1日(土)

#### ふっさマジック腹話術・ふっさ草笛サークル

福生市を中心として、幼児から高齢者まで地域を明るくする活動を長く行っている「ふっさマジック腹話術」と「ふっさ草笛サークル」の会員7名が南田園の高齢者デイサービス施設ツクイでの慰問活動を行いました。コロナ禍だったため、久しぶりの訪問となりました。

ハンカチやロープを使い、慣れた手つきで見事なマジックを披露する一方、草笛や縦笛の演奏もあり、観客の方々は驚いたり、耳を傾けて楽しまれていました。

両登録団体は定期的に練習を行い、慰問活動を通して「地域を明るく元気に!」を目的に活動しているそうです。会員募集中しているので興味のある方はぜひどうぞ。



取材日：4月30日(日)

### 輝きフォトクラブ



コロナ禍のため延び延びになっていましたが、「第8回写真展」を4月7日(金)から3日間、恒例のプチギャラリーで久しぶりに開催することが出来ました。会場の予約を4回も延期して来ましたが、ようやく実施への運びとなり145名の入場を頂きました。前回の開催から日にちもかなり立っていることもあり、非常に多岐に渡った作品が展覧されて内容の濃い写真展となりました。クラブの例会も暫くはオンラインでの実施でしたが、今年に入り元通り輝き市民サポートセンターの会議室をお借りしてのリアルの会議となりましたので、コロナ前のような活発な活動に戻っていきたく思います。来年の会場も予約完了、一同作品作りに励みます。



### 登録団体 事業報告

#### 和裁まち針

5月5日(金)から7日(日)まで3日間「和裁まち針」が久しぶりの作品展を開催しました。360人以上の来場者に感謝あるのみです。

3歳の孫の被布を50年程前のしぼりの羽織から作った人、7歳の孫のお祝い着を大人物の着尺で作った人、65年も前母親が着ていた羽織で自分のハーフコートを作った人、着物は直線裁ちなので、どんな物にでも生まれ変わる事が出来ます。

その昔、母達は夏が過ぎると家族が着たゆかたをほどこき、洗って糊で板張りし天日に干し、乾くと板から剥がしまた作り直す。私は、この板からパリパリになったゆかた地を剥がすのが大好きでした。一着のゆかたは、天地を繰り返し3回程作り直し、その後はおしめ、雑巾と布の寿命を全うする。絹布は手入れさえしていれば、100年以上も保つ。一反の反物を作るのに約3,000匹の蚕が紡ぐ繭が必要。食料となる桑の葉は約100kg、そんな蚕の寿命は50日。蚕の命と沢山の人の手と工程を経てやっと一反の布になる。安易に着物や帯を捨てないで欲しい!とただただ願うばかりです。



### 福生自然写真の会

長年続けてきた職場で年齢が70歳になりましたので、退職することにして、その後写真を撮りたいと思うようになりました。そこで探していたところ、「多摩に生えている野草を、一つの花を大きく撮る」という主旨を目指している団体があることが判り入会しました。このクラブが、発足する時に市から援助をいただきました。それ以降、主旨を余り変えずに現在、10名程度の仲間で写真を撮り続けています。

私達が幸せに生きていくためには、人間以外の生きもの、特に植物やその花との関わりが大きな要素となっています。

花は私達を幸せな気分へと導いてくれます。特に古くから私達の身の回りには野の花はいつの間にか芽を吹き花を咲かせ、季節の到来を告げてくれます。そのような身近にある野の花に目を向け、その花の持つ潤いや良さをカメラに収め、皆様と一緒に味わいたいと考えております。



#### 事業開催予告

#### やってみナイト「輝き」パソコンを学ぼう

要予約・参加費無料

「Excel」とは... 表計算のソフトのことです

～初心者「Excel」入門～

仕事はもちろん、日常でも活用できるExcel. 基本操作を学びます。

【日時】6月9日(金) 7月14日(金)・28日(金)  
午後6時30分～8時

【定員】各日先着2人  
※輝き市民サポートセンターのパソコンを利用します。

#### 市民活動相談

～ボランティアや公益的な活動に関する相談～  
すでに活動している中での悩みや、これから始める方の疑問や不安をお聞きします。

【日時】6月3日(土)・17日(土) 7月15日(土)・29日(土)  
午後6時30分～8時

【定員】各日先着2人  
※都合により日程が変更となる場合があります

【申込み・問合せ】輝き市民サポートセンターへ  
(開催日の前日まで申込み可)

TEL/FAX: 042-551-0166  
mail: kagayakishimin@forest.ocn.ne.jp